令和2年度　決算の概要
（上下水道局）

別府市水道事業会計

1. 決算報告

決算書P1　消費税及び地方消費税込み

収益的収入及び支出 （経営活動に伴い発生する収支）

収入は前年度比　4.8%減の2.417.419千円、支出は前年度比　1.3%増の2.231.158千円

収入決算額	2,417,419 千円	（	前年度比	△ 114,936 千円	4.8 % 減	）
支出決算額	2,231,158 千円	（	前年度比	28,579 千円	1.3 % 増	）

2. 損益計算（純利益）

決算書P3　消費税及び地方消費税抜き

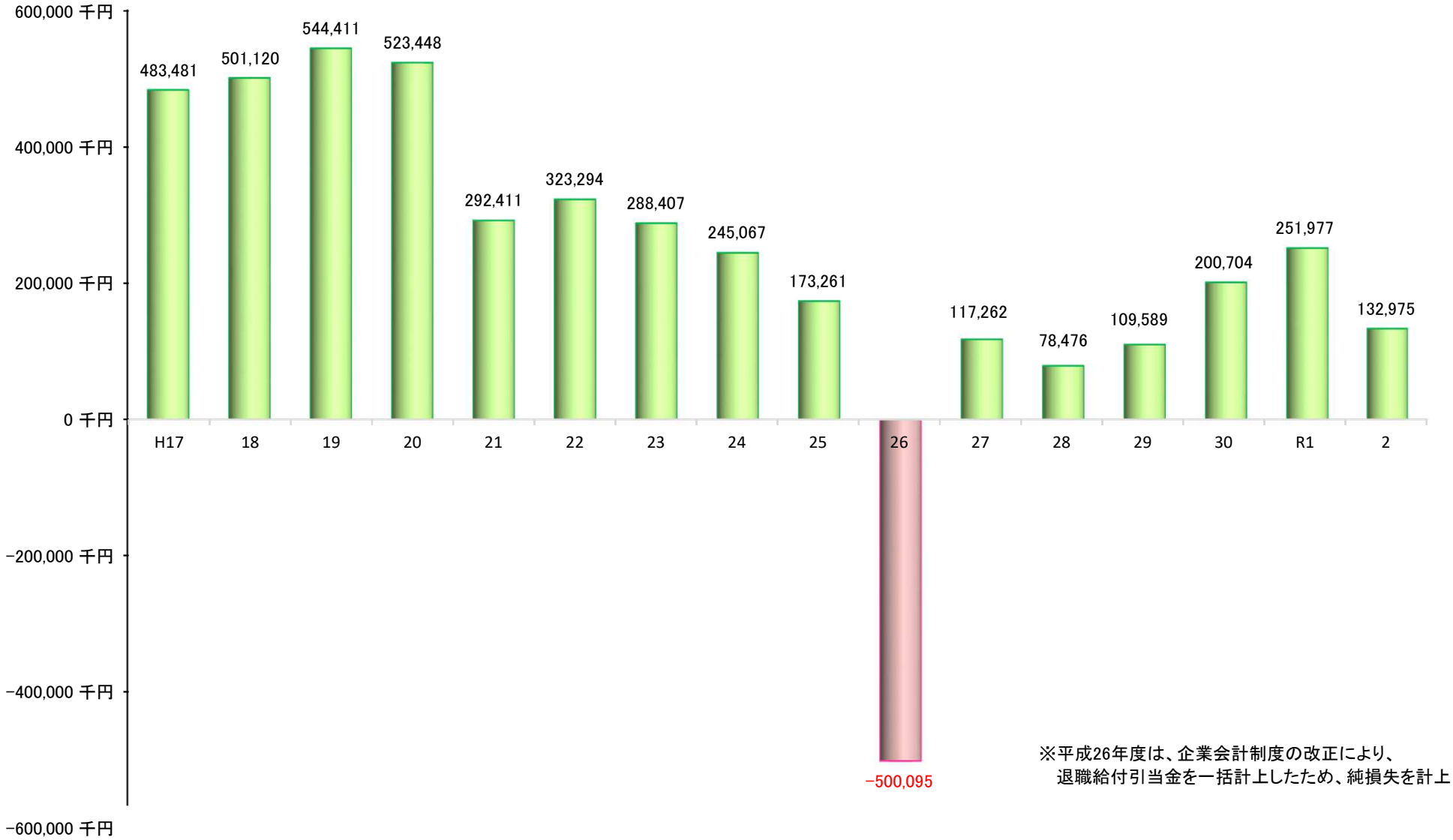
純利益（決算報告の収益的収入及び支出から消費税及び地方消費税を控除して算出）

令和2年度の純利益は132,975千円を計上　（前年度比119,002千円減、47.2%減）

収入決算額	2,204,473 千円					
支出決算額	2,071,498 千円	（	前年度比	△ 119,002 千円	47.2 % 減	）

→ 純利益　132,975 千円

（参考）純利益（純損失）の推移

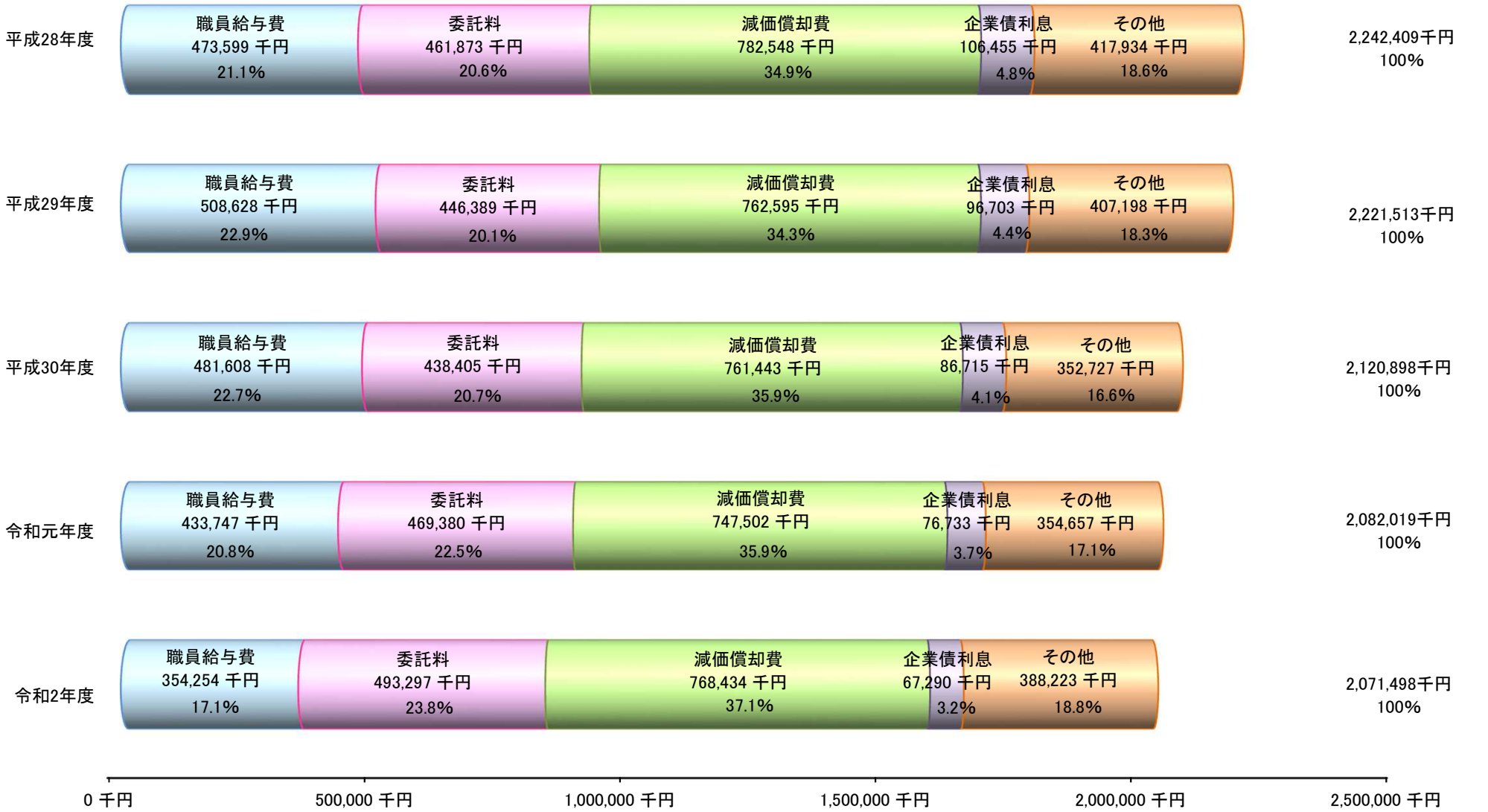


※平成26年度は、企業会計制度の改正により、
退職給付引当金を一括計上したため、純損失を計上

（参考）収入決算額の推移

平成28年度
給水収益
2,178,584 千円
93.9%
新規加入金
30,105 千円
1.3%
その他
112,196 千円
4.8%
2,320,885千円
100%
平成29年度
給水収益
2,184,754 千円
93.7%
新規加入金
27,225 千円
1.2%
その他
119,123 千円
5.1%
2,331,102千円
100%
平成30年度
給水収益
2,168,190 千円
93.4%
新規加入金
39,510 千円
1.7%
その他
113,902 千円
4.9%
2,321,602千円
100%
令和元年度
給水収益
2,183,706 千円
93.6%
新規加入金
34,335 千円
1.5%
その他
115,955 千円
4.9%
2,333,996千円
100%
令和2年度
給水収益
2,036,628 千円
92.4%
新規加入金
33,795 千円
1.5%
その他
134,050 千円
6.1%
2,204,473千円
100%
0 千円
500,000 千円
1,000,000 千円
1,500,000 千円
2,000,000 千円
2,500,000 千円

（参考）支出決算額の推移


平成28年度
職員給与費 473,599 千円 21.1%
委託料 461,873 千円 20.6%
減価償却費 782,548 千円 34.9%
企業債利息 106,455 千円 4.8%
その他 417,934 千円 18.6%
2,242,409千円 100%
平成29年度
職員給与費 508,628 千円 22.9%
委託料 446,389 千円 20.1%
減価償却費 762,595 千円 34.3%
企業債利息 96,703 千円 4.4%
その他 407,198 千円 18.3%
2,221,513千円 100%
平成30年度
職員給与費 481,608 千円 22.7%
委託料 438,405 千円 20.7%
減価償却費 761,443 千円 35.9%
企業債利息 86,715 千円 4.1%
その他 352,727 千円 16.6%
2,120,898千円 100%
令和元年度
職員給与費 433,747 千円 20.8%
委託料 469,380 千円 22.5%
減価償却費 747,502 千円 35.9%
企業債利息 76,733 千円 3.7%
その他 354,657 千円 17.1%
2,082,019千円 100%
令和2年度
職員給与費 354,254 千円 17.1%
委託料 493,297 千円 23.8%
減価償却費 768,434 千円 37.1%
企業債利息 67,290 千円 3.2%
その他 388,223 千円 18.8%
2,071,498千円 100%
0 千円
500,000 千円
1,000,000 千円
1,500,000 千円
2,000,000 千円
2,500,000 千円

3. 決算報告

決算書P2　消費税及び地方消費税込み

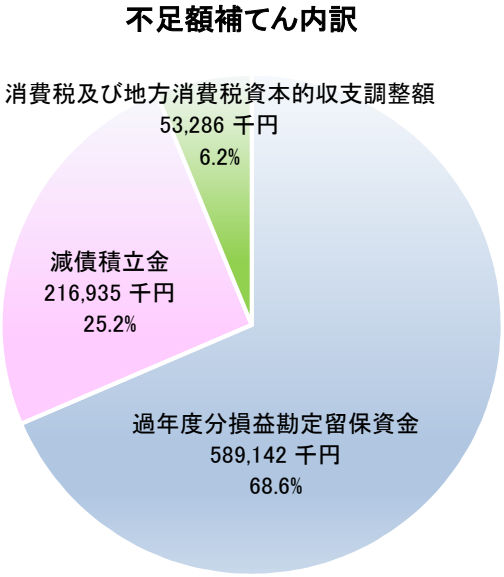
資本的収入及び支出　（水道施設整備などに伴い発生する収支）

収入は前年度比　17.5%減の103,928千円、支出は前年度比　26.0%減の963,291千円

収入決算額　103,928 千円　（　前年度比　△ 22,092 千円　17.5 %減　）

支出決算額　963,291 千円　（　前年度比　△ 337,698 千円　26.0 %減　）

不足額　859,363 千円



不足額については、過年度分損益勘定留保資金や減債積立金等を充当しました。

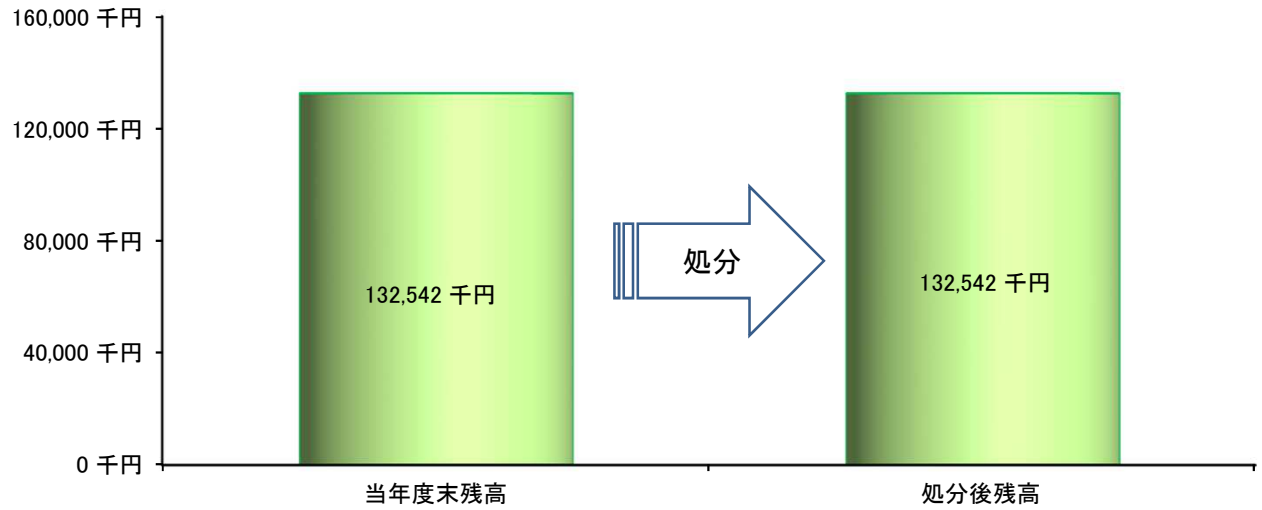
（参考）財源の推移

平成28年度
損益勘定留保資金
1,166,337 千円
96.6%
減債積立金
40,874 千円
3.4%
1,207,211千円
100%
平成29年度
損益勘定留保資金
1,232,050 千円
94.4%
減債積立金
72,999 千円
5.6%
1,305,049千円
100%
平成30年度
損益勘定留保資金
1,304,389 千円
88.7%
減債積立金
165,391 千円
11.3%
1,469,780千円
100%
令和元年度
損益勘定留保資金
1,097,711 千円
83.5%
減債積立金
216,936 千円
16.5%
1,314,647千円
100%
令和2年度
損益勘定留保資金
1,244,903 千円
92.7%
減債積立金
98,686 千円
7.3%
1,343,589千円
100%
0 千円
200,000 千円
400,000 千円
600,000 千円
800,000 千円
1,000,000 千円
1,200,000 千円
1,400,000 千円
1,600,000 千円

4. 剰余金の処分

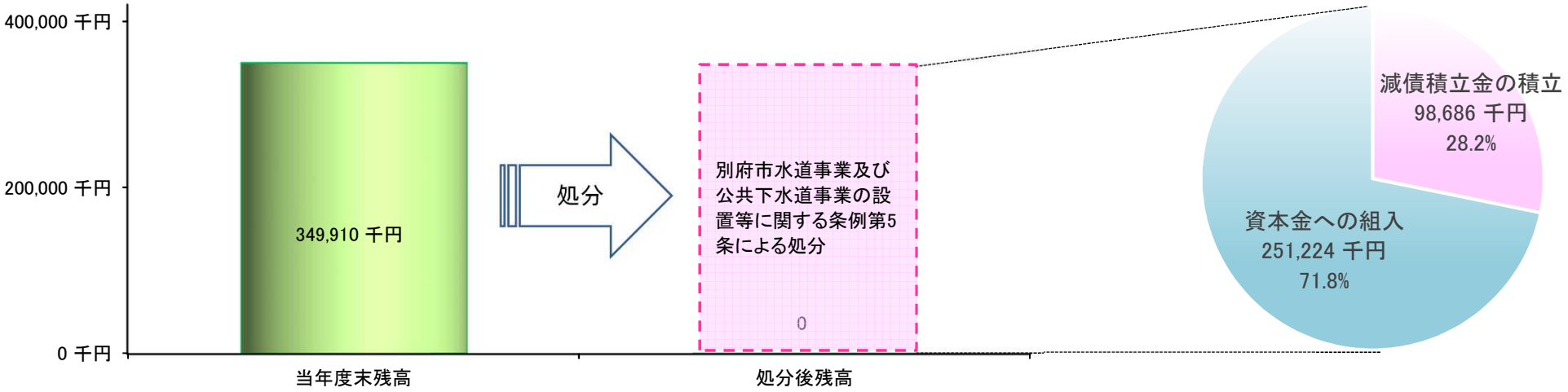
決算書P4

資本剰余金（条例に基づき、処分）



令和2年度は処分がありませんでした

未処分利益剰余金（条例に基づき、処分）



5. 令和2年度に実施した主な事業

決算書P11～17　消費税及び地方消費税込み

施設拡張改良事業　158,398千円

安全かつ安定した水道水を継続して供給するため、市内に点在する経年化した施設及び設備の更新を行い、強靭な水道施設の構築を図るため、雲泉寺橋300mm送水管布設替工事などを実施しました。

雲泉寺橋 300mm送水管布設替工事

配水管整備事業　305,899千円

災害時における強靭性を確保し、適正な水圧及び水量を利用者に対して公平に提供できる効率的かつ経済的な配水管網の整備を、漏水防止対策の強化も考慮して、亀川浜田35組4 200mm減圧弁設置工事などを、市内各所において実施しました。（延長距離　2,345m）

亀川浜田35組4 200mm減圧弁設置工事

朝見浄水場既存施設更新事業　41,250千円

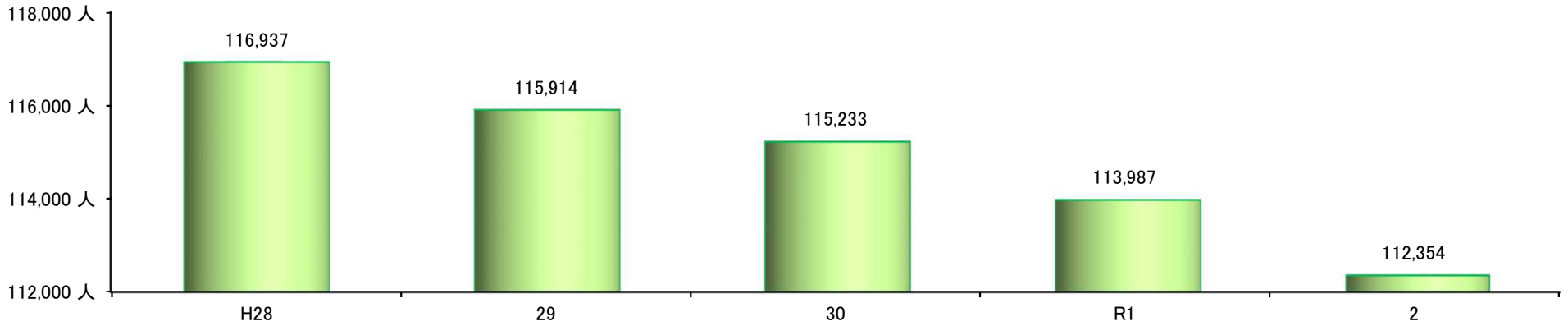
本市の基幹浄水場である朝見浄水場内の経年化した施設及び設備について更新を行い、安全な浄水処理能力及び安定した給水体制の持続及び向上を図るため、朝見浄水場1系ろ過池(7、8号)改修工事などを実施しました。

朝見浄水場1系ろ過池(7、8号)
改修工事

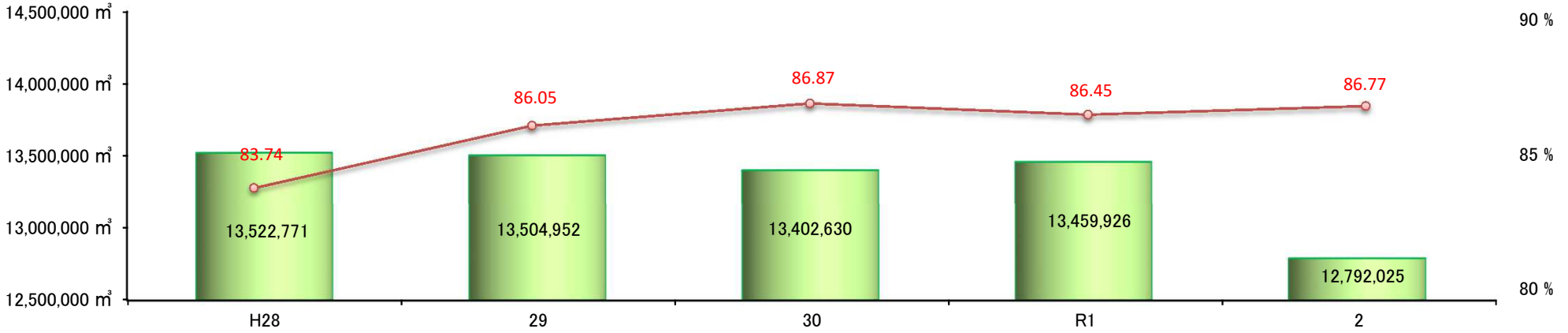
6. 業務量

決算書P20

給水人口の推移（給水区域内で水道を使用している人口）



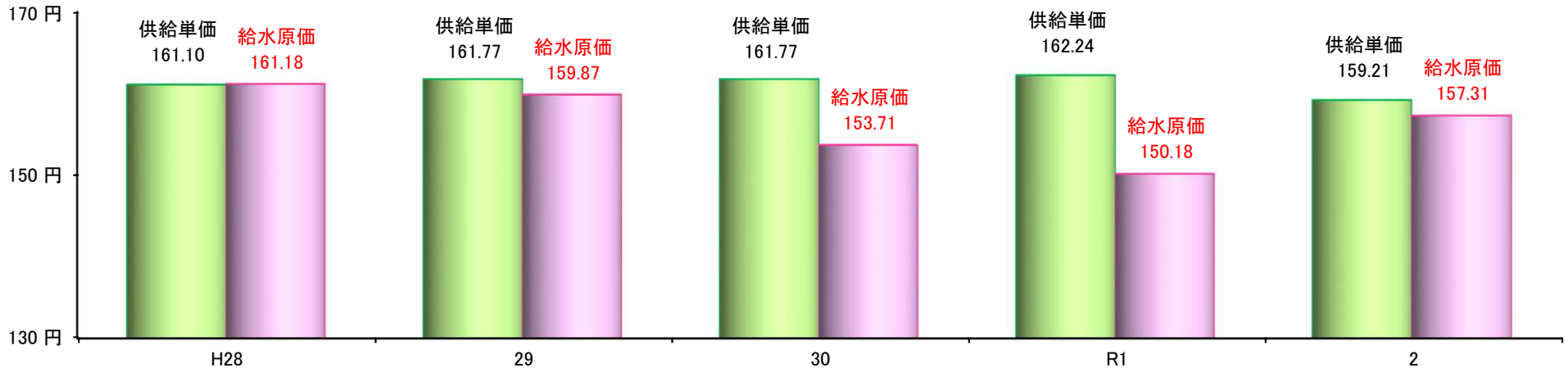
有収水量・有収率 （有収水量＝水道料金算出の基礎となる水量　有収率＝配水量に対する有収水量の割合で施設の効率性を示す）



7. 供給単価・給水原価

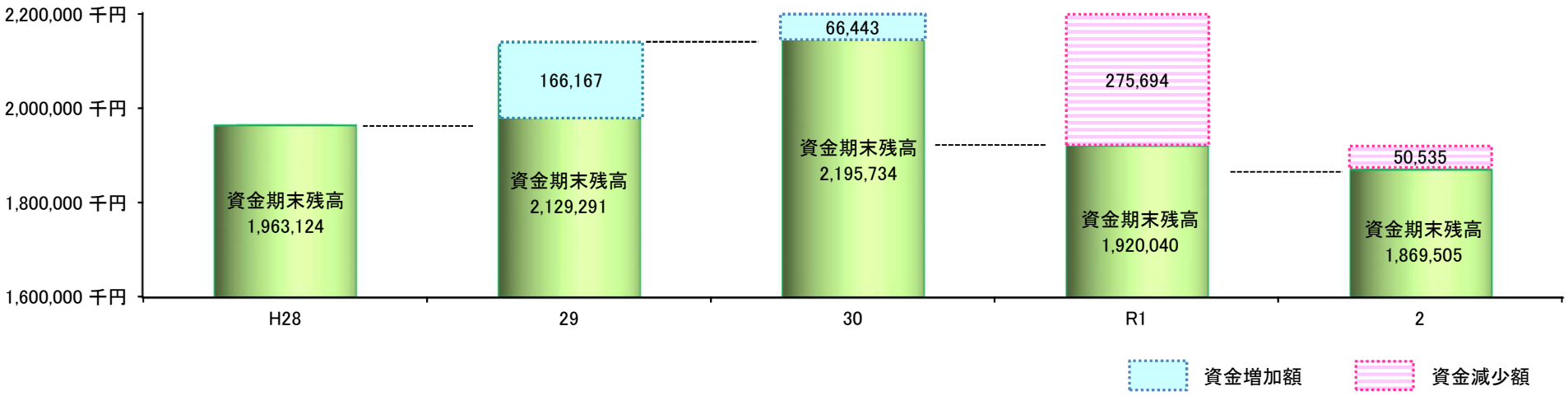
決算書P21～22

供給単価＝1㎥当たりどれだけの収益を得たかを示す指標　　給水原価＝1㎥当たりどれだけの費用がかかったかを示す指標



8. キャッシュ・フロー （業務活動、投資活動、財務活動による現金の動きを示すもの）

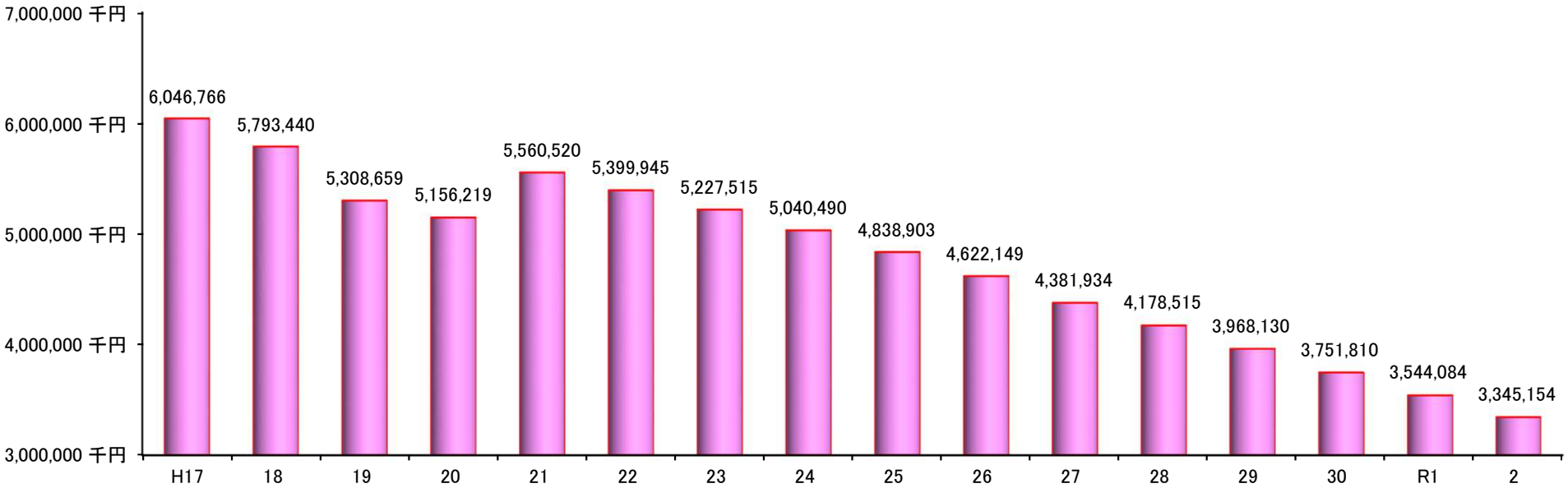
決算書P26



9. 企業債残高の推移 （建設改良費の財源に充てるために借り入れた長期借入金）

決算書P38～39

年々、減少傾向で推移しています。



（参考）水道料金の状況 （一般家庭用）

別府市の水道料金は、大分県下各市の水道料金と比較して、低い状況となっています。（令和2年4月1日現在）

1ヶ月10㎥使用時の水道料金

1（最高）	1,705 円
⋮	
9 別府市	**1,334 円**
⋮	
14（最低）	1,100 円
県下平均	1,435 円

1ヶ月20㎥使用時の水道料金

1（最高）	3,755 円
⋮	
11 別府市	**2,924 円**
⋮	
14（最低）	2,520 円
県下平均	3,057 円

MEMO

別府市公共下水道事業会計

1. 決算報告(令和2年度より地方公営企業法全部適用)

決算書P1　消費税及び地方消費税込み

収益的収入及び支出　(経営活動に伴い発生する収支)

収入(消費税及び地方消費税込み額)は、1,943,191千円、支出は2,181,416千円を計上

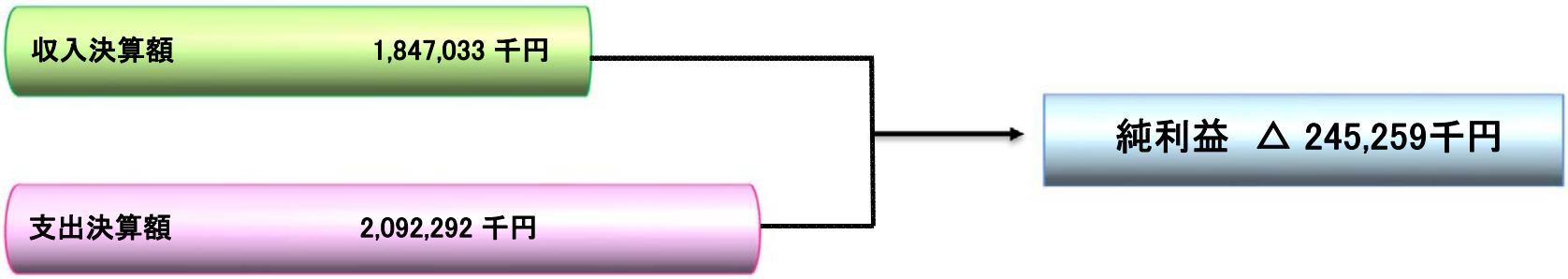
収入決算額　1,943,191 千円

支出決算額　2,181,416 千円

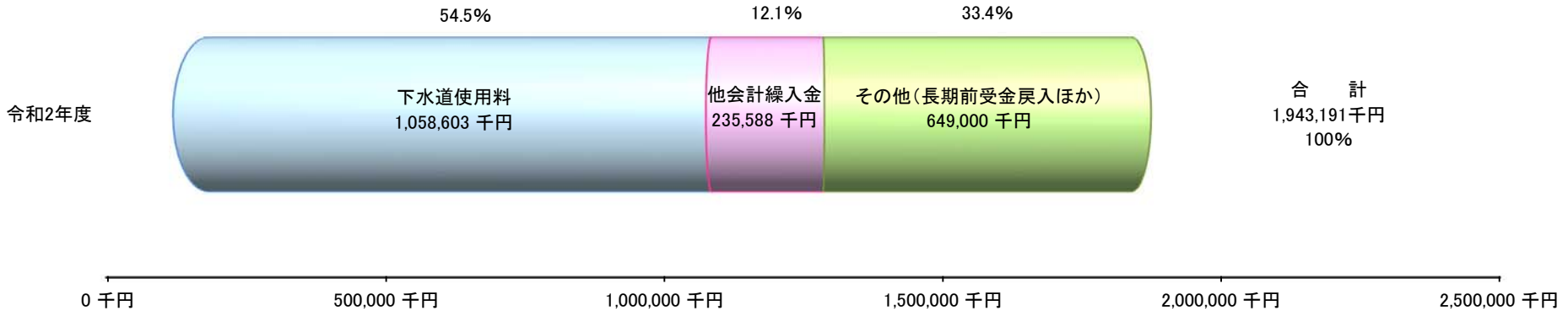
2. 損益計算(純利益)

純利益(決算報告書(収益的収支及び資本的収支)から消費税及び地方消費税等を調整し,算出)

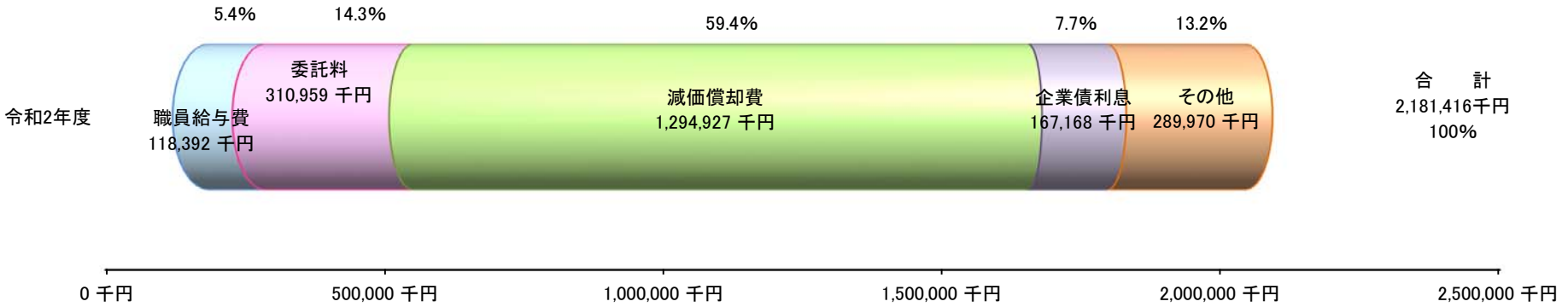
令和2年度純損失　245,259千円を計上



（参考）令和2年度収入決算額の主な内訳（消費税及び地方消費税込み）



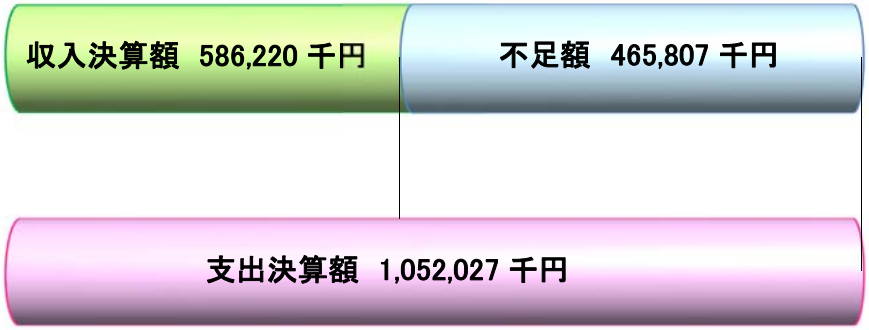
（参考）令和2年度支出決算額の主な内訳（消費税及び地方消費税込み）



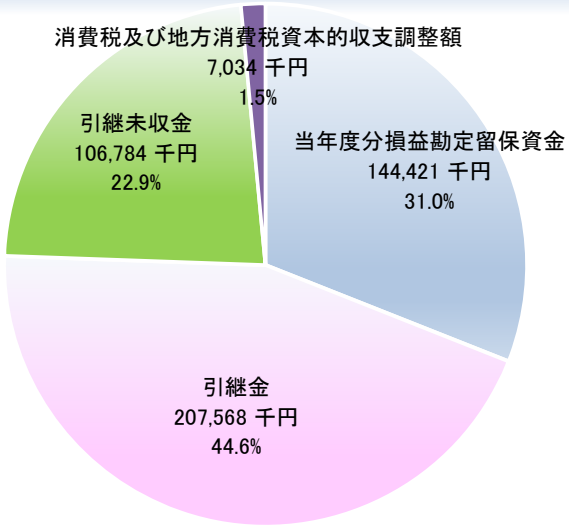
3. 決算報告

決算書P2　消費税及び地方消費税込み

資本的収入及び支出　（下水道施設整備などに伴い発生する収支）

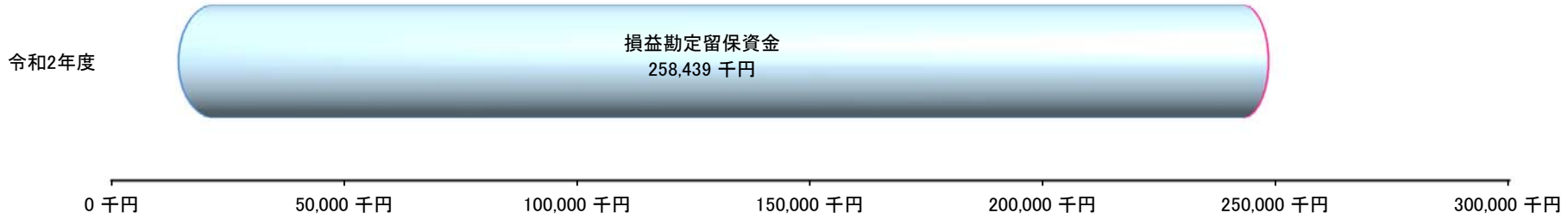


不足額の
補てん内訳



不足額については、当年度分損益勘定留保資金や引継金等を充当しました。

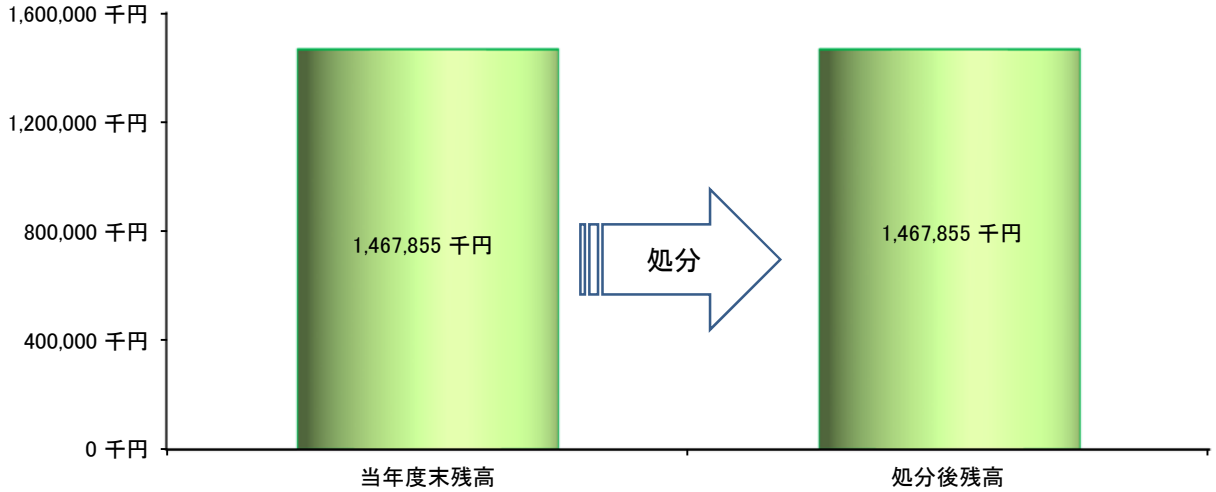
（参考）財源の推移



4. 剰余金の処分

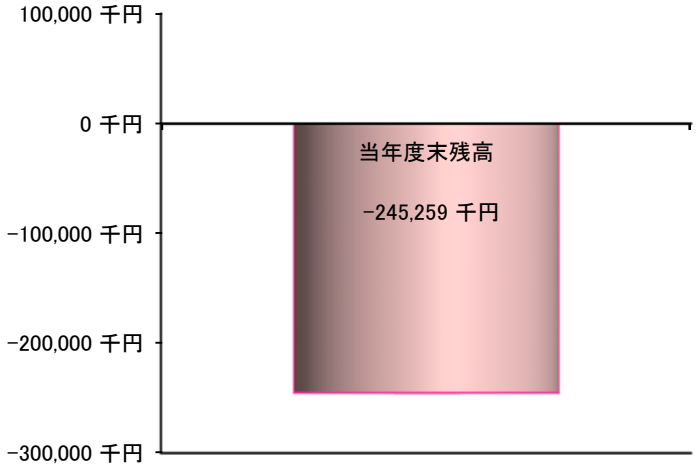
決算書P4

資本剰余金（条例に基づき処分）



令和2年度　処分なし

未処分利益剰余金（条例に基づき処分）



処　　分

利益が生じなかったことにより、別府市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例第5条による処分はありません。

5. 令和2年度に実施した主な事業

決算書P10～11、15～16　消費税及び地方消費税込み

管渠建設事業　224,549千円

管渠建設事業では、認可区域内の住民の要望並びに投資効果の期待できる地域を優先的に整備し、使用者の拡大を図り、収益の増収に努めました。
また、老朽化した管きょ施設の更新並びに耐震化を進め、安全な汚水処理施設の再構築を図り、また、生活排水の適切な処理による水環境保全に向けた取り組みを実施しました。（汚水管きょ・雨水管きょの整備及び更新に伴う委託料及び工事請負費等）

汚水管きょ（更生工事）

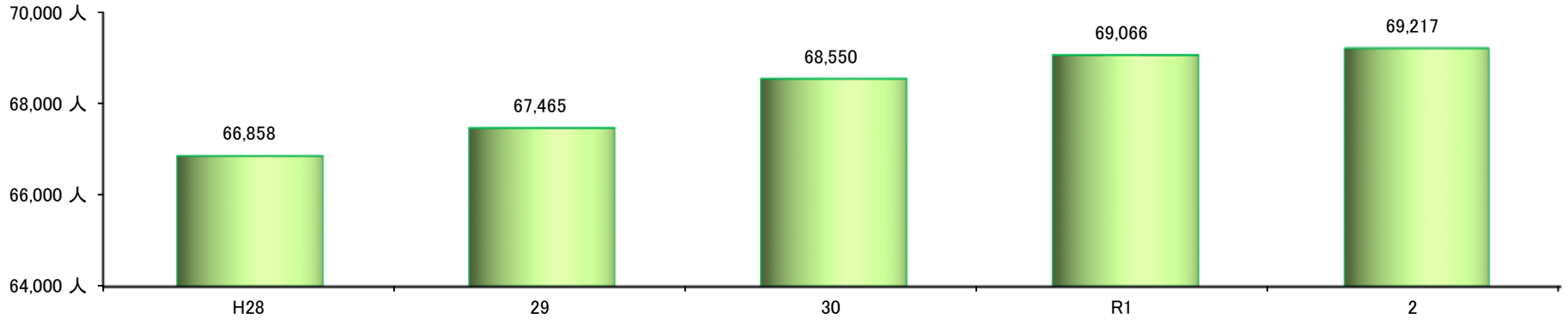
令和2年度　田の湯町2番外汚水管きょ更生工事

汚水管きょ（開削工事）

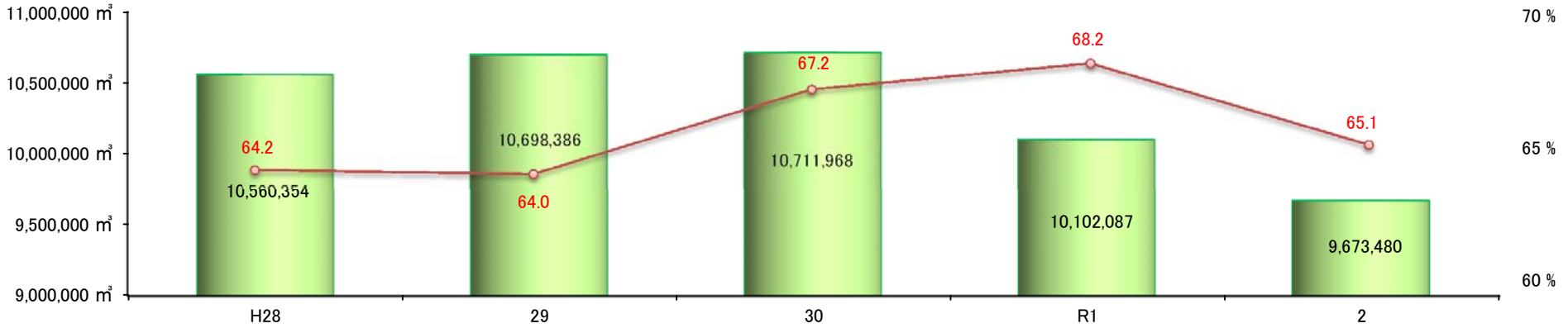
令和2年度 馬場2組汚水管きょ布設工事

6. 業務量

水洗便所設置済(水洗化)人口の推移



有収水量・有収率 （有収水量＝下水道使用料算出の基礎となる水量　有収率＝汚水処理水量に対する有収水量の割合で施設の効率性を示す）

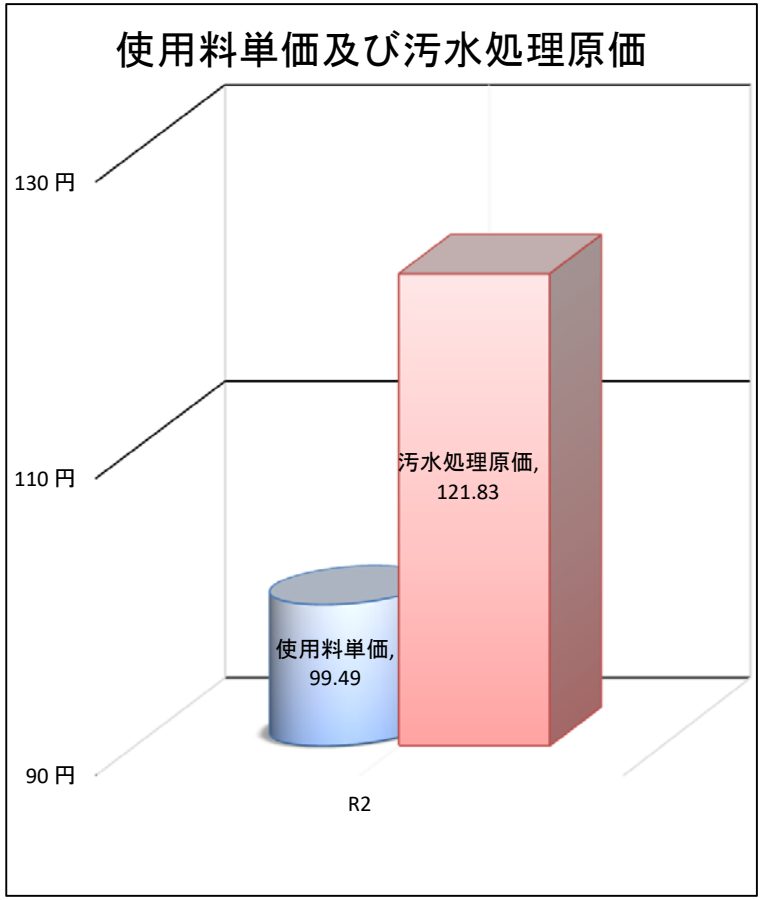


7. 使用料単価・汚水処理原価

決算書P13～14

使用料単価＝1㎥当たりどれだけの収益を得たかを示す指標

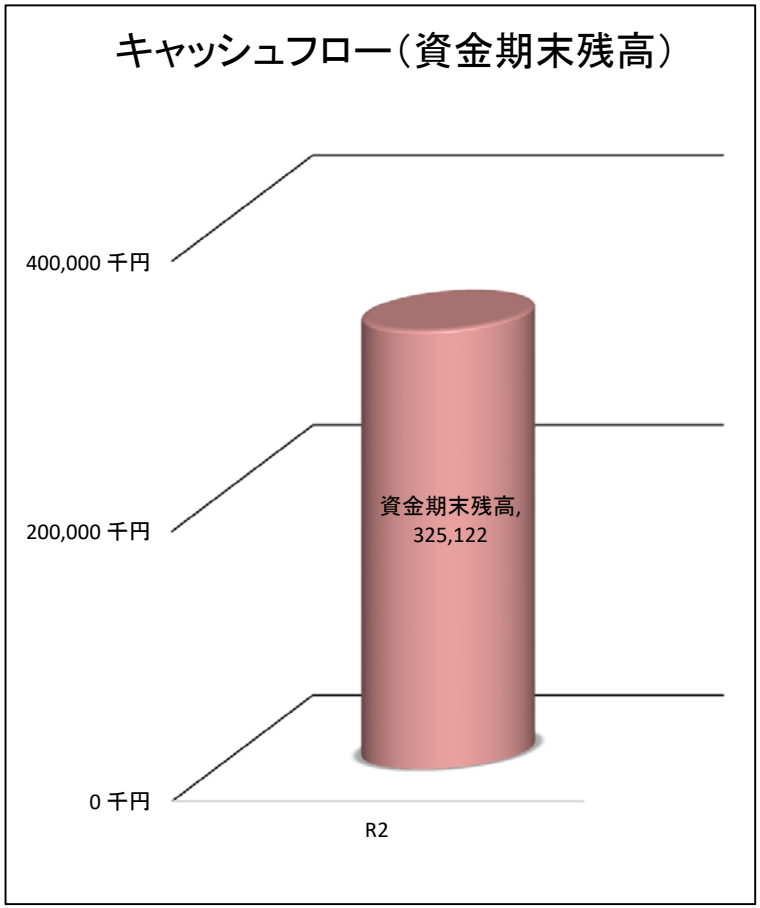
汚水処理原価＝汚水1㎥当たりどれだけの汚水処理費用がかかったかを示す指標



8. キャッシュ・フロー

決算書P18

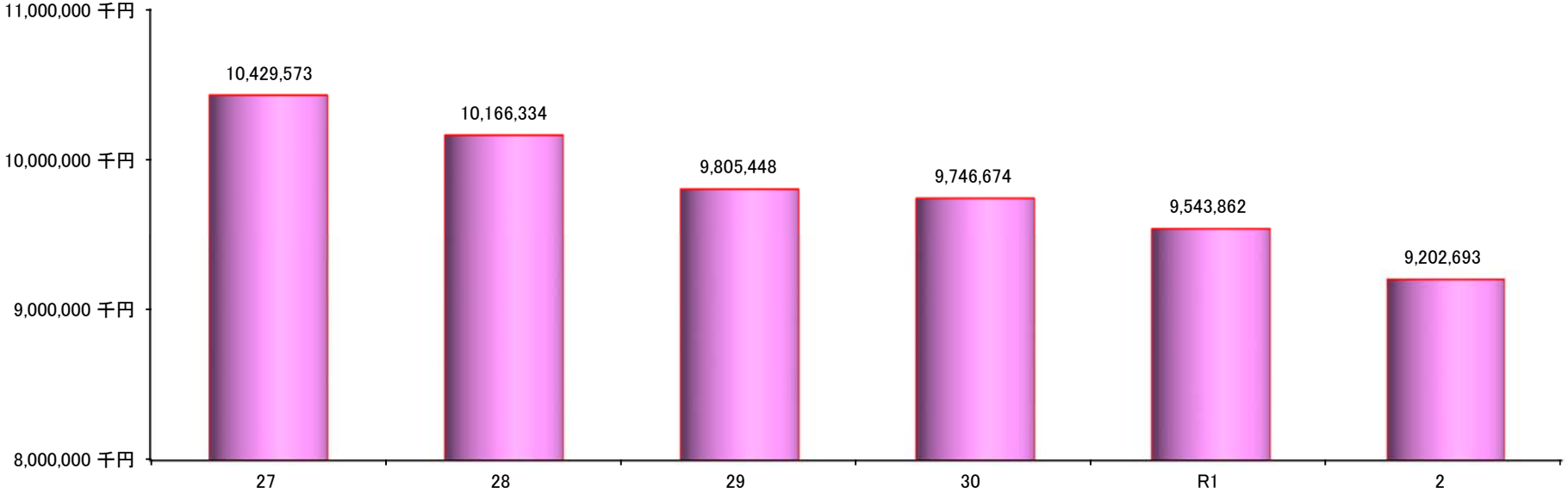
業務活動・投資活動・財務活動による資金の動きを示すもの



9. 企業債残高の推移 （建設改良費の財源に充てるために借り入れた長期借入金）

決算書P27～32

年々、減少傾向で推移しています。



（参考）下水道使用料の状況 （一般汚水）

別府市の下水道使用料は、大分県下各市と比較して、一番低い使用料となっています。（令和2年4月1日現在）

1ヶ月10㎥使用時の下水道使用料

1（最高）	1,750 円
⋮	
12 別府市	**930 円**
⋮	
12（最低）	930 円
県下平均	1,368 円

1ヶ月20㎥使用時の下水道使用料

1（最高）	3,680 円
⋮	
12 別府市	**2,150 円**
⋮	
12（最低）	2,150 円
県下平均	2,953 円

MEMO